

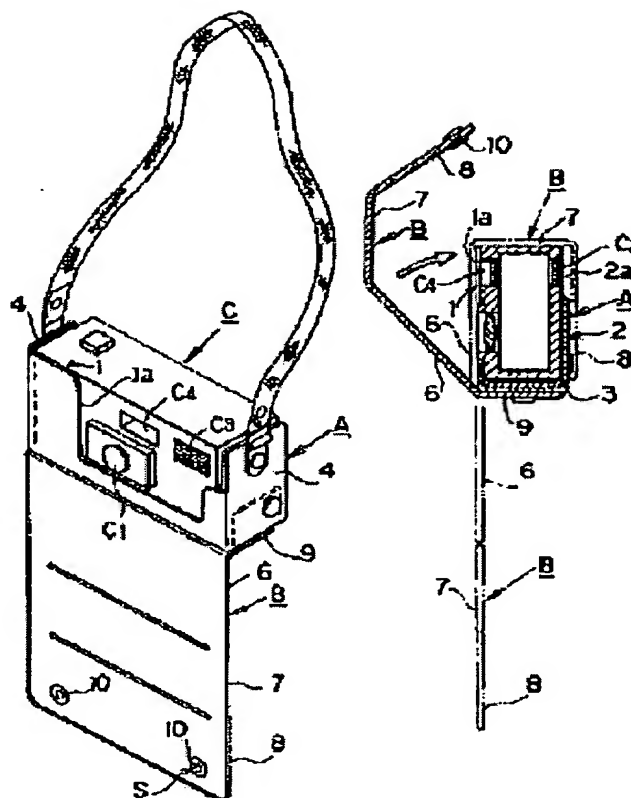
CASE FOR DISPOSABLE CAMERA

Patent number:	JP6269311
Publication date:	1994-09-27
Inventor:	KAMIYA YOSHIHISA
Applicant:	SUUPAA PLANNING KK
Classification:	
- international:	A45C11/38
- european:	
Application number:	JP19930085201 19930322
Priority number(s):	JP19930085201 19930322

Report a data error here

Abstract of JP6269311

PURPOSE: To provide a case for a disposable camera which enables the loading or unloading of the disposable camera very simply while making its appearance best in the use of the camera. **CONSTITUTION:** A camera case body A which is allowed to house a disposable camera C is so arranged to form a front cut part 1a for a finder opening C4 and a lens formed at a front part 1 and a rear cut part 2a for a finder C2 and for winding a film formed at the rear part 2. A case cover body B is provided to cover the front cut part 1a. the rear cut part 2a and a port of loading or unloading the disposable camera.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

Best Available Copy

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-269311

(43)公開日 平成 6 年(1994) 9月27日

(51)Int.Cl.⁵

A 4 5 C 11/38

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 2119-3B

審査請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平5-85201

(22)出願日 平成 5 年(1993) 3 月22日

(71)出願人 593071535

株式会社スーパープランニング

静岡県浜松市瓜内町1937

(72)発明者 神谷 敬久

静岡県浜松市瓜内町1937 株式会社スーパ
ープランニング内

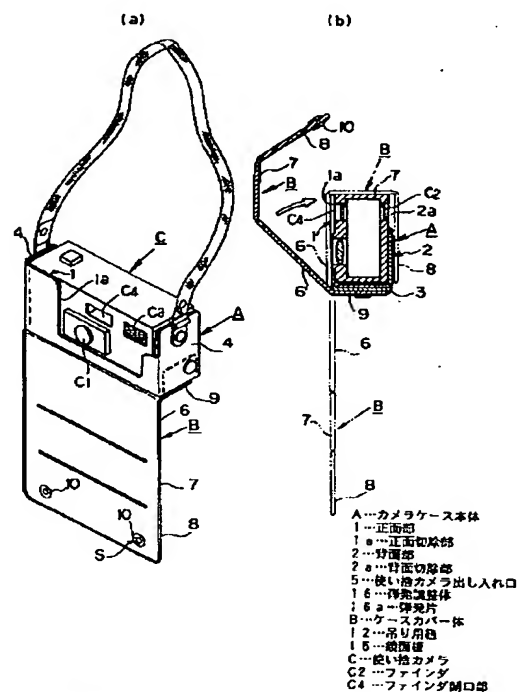
(74)代理人 弁理士 岩堀 邦男

(54)【発明の名称】 使い捨てカメラ用ケース

(57)【要約】

【目的】 使い捨てカメラのケースであって、使い捨てカメラの出し入れが極めて簡単にできるものであり、且つ使い捨てカメラの使用時の感覚を最良なものにすること。

【構成】 正面部 1 にファインダ開口部 C 4 及びレンズ用の正面切除部 1 a を形成し、背面部 2 にファインダ C 2 及びフィルム巻上用の背面切除部 2 a をそれぞれ形成した使い捨てカメラ C を収容可能なカメラケース本体 A を設けること。前記正面切除部 1 a、背面切除部 2 a 及び使い捨てカメラ出し入れ口 5 を被覆可能にケースカバー B を設けること。



Best Available Copy

【特許請求の範囲】

【請求項1】 正面部にファインダ開口部及びレンズ用の正面切除部を、背面部にファインダ及びフィルム巻上用の背面切除部をそれぞれ形成した使い捨てカメラを収容可能なカメラケース本体に、前記正面切除部、背面切除部及び使い捨てカメラ出し入れ口を被覆可能にケースカバー体を設けてなることを特徴とした使い捨てカメラ用ケース。

【請求項2】 正面部にファインダ開口部及びレンズ用の正面切除部を、背面部にファインダ及びフィルム巻上用の背面切除部をそれぞれ形成し、且つ対向する両側面部に内方に突出する弾発片を有する弾発調整体を設けた使い捨てカメラを収容可能なカメラケース本体に、前記正面切除部、背面切除部及び使い捨てカメラ出し入れ口を被覆可能にケースカバー体を設けてなることを特徴とした使い捨てカメラ用ケース。

【請求項3】 正面部にファインダ開口部及びレンズ用の正面切除部を、背面部にファインダ及びフィルム巻上用の背面切除部をそれぞれ形成した使い捨てカメラを収容可能なカメラケース本体に、前記正面切除部、背面切除部及び使い捨てカメラ出し入れ口を被覆可能にケースカバー体を設け、カメラケース本体には吊り用紐を設けてなることを特徴とした使い捨てカメラ用ケース。

【請求項4】 正面部にファインダ開口部及びレンズ用の正面切除部を、背面部にファインダ及びフィルム巻上用の背面切除部をそれぞれ形成した使い捨てカメラを収容可能なカメラケース本体に、前記正面切除部、背面切除部及び使い捨てカメラ出し入れ口を被覆可能にケースカバー体を設け、該ケースカバー体はカメラケース本体の正面部より背面部方向に閉じることを特徴とした使い捨てカメラ用ケース。

【請求項5】 正面部にファインダ開口部及びレンズ用の正面切除部を、背面部にファインダ及びフィルム巻上用の背面切除部をそれぞれ形成した使い捨てカメラを収容可能なカメラケース本体に、前記正面切除部、背面切除部及び使い捨てカメラ出し入れ口を被覆可能にケースカバー体を設け、該ケースカバー体はカメラケース本体の背面部より正面部方向に閉じることを特徴とした使い捨てカメラ用ケース。

【請求項6】 正面部にファインダ開口部及びレンズ用の正面切除部を、背面部にファインダ及びフィルム巻上用の背面切除部をそれぞれ形成した使い捨てカメラを収容可能なカメラケース本体に、前記正面切除部、背面切除部及びカメラケース本体の使い捨てカメラ出し入れ口を被覆可能にケースカバー体を設け、該ケースカバー体はカメラケース本体の正面部より背面部に向かって被覆可能とし、ケースカバー体のカメラケース本体との当接面側には鏡面板を貼着してなることを特徴とした使い捨てカメラ用ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、使い捨てカメラの出し入れが極めて簡単であり、且つ使い捨てカメラの使用時の感覚を最良なものにすることができる使い捨てカメラ用ケースに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、場所を選ばず、手軽に使用できる等の理由から使い捨てカメラが多く使用されるようになっており、特に高価なカメラを持ち歩く必要がない等の利点があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、使い捨てカメラは、その構造を極めて簡単にするため、外観は直方体状のシンプルなものであり、その使い捨てカメラの持ち運びでは、直接手に握りしめたり、或いはポケット、バック等に入れて持ち運ばなくてはならない。

【0004】さらに、使い捨てカメラは特に、観光地、遊園地、博覧会場等にて多く使用されるものであり、観光地や遊園地では使い捨てカメラ以外にも手荷物を持つことが多く、また博覧会場では多くのパンフレット等を受け取り、これらが大きな荷物となる。

【0005】従って、このように多くの荷物を持ちながら、且つ使い捨てカメラを直接手に持ちながらの移動は、その使用者から行動の自由を著しく奪い取るものであるし、また使い捨てカメラ自体もフィルムを全部使い果たしても、そのカメラ本体からフィルムのみを抜き出すことができず、カメラ本体を現像所まで保管しておかなければならず、このような点において使い捨てカメラは、使用者にとって不便となることがしばしばあった。

【0006】さらに、使い捨てカメラ自体はパッケージのデザイン等が画一的であり、使用者にとっては、特に個性的なデザインであるとはいえない。

【0007】

【課題を解決するための手段】そこで、発明者は上記課題を解決すべく、鋭意研究を重ねた結果、本発明を、正面部にファインダ開口部及びレンズ用の正面切除部を、背面部にファインダ及びフィルム巻上用の背面切除部をそれぞれ形成した使い捨てカメラを収容可能なカメラケース本体に、前記正面切除部、背面切除部及び使い捨てカメラ出し入れ口を被覆可能にケースカバー体を設けてなる使い捨てカメラ用ケース等としたことにより、持ち運びが極めて楽なものとなり、またデザイン面においても、極めて個性的なものとすることができ、上記課題を解決したものである。

【0008】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明すると、本発明の使い捨てカメラ用ケースは、図1に示すように、カメラケース本体A及びケースカバー体Bから構成されており、ビニール、プラスチック板等の合成樹脂材或いはボール紙等の厚紙材から形成されている。

【0009】そのカメラケース本体Aは、図1に示すように、正面部1、背面部2とが適宜の間隔をおいて対向し、正面部1と背面部2との間に底面部3及び側面部4、4が存在して直方体状のカメラケース本体Aが構成されている。

【0010】そのカメラケース本体Aは、上述したようにビニール、プラスチック板等の合成樹脂材或いはボール紙等の厚紙材から形成されるが、その組立前の展開図の一例が図3に示されており、そのカメラケース本体Aの組立状態は、図4に示されている。

【0011】該カメラケース本体Aは、種々の使い捨てカメラCが収容できる容量を有しており、そのカメラケース本体Aの使い捨てカメラ出し入れ口5から使い捨てカメラCを自由に出し入れすることができる。

【0012】そのカメラケース本体Aの正面部1には正面切除部1aが形成され、また背面部2に背面切除部2aが形成されており、カメラケース本体Aに使い捨てカメラCを内装したときに、使い捨てカメラCのレンズ部C1が正面切除部1aから、またファインダC2が背面切除部2aから外部に露出するようになっている。

【0013】具体的には、正面部1に形成された正面切除部1aは、図5に示すように、レンズ部C1、フラッシュ部C3及びファインダ開口部C4とが外部に露出するものである。

【0014】さらに、図7に示すように、フラッシュ部C3が設けられていない使い捨てカメラCのためにレンズ部C1とファインダ開口部C4のみが外部に露出するタイプのものも存在する。

【0015】また、背面部2の背面切除部2aでは、図6に示すように、ファインダC2及びフィルム巻上部C5が外部に露出し、使い捨てカメラ用ケースに使い捨てカメラCを内装したままフィルムの巻上ができるようになっている。

【0016】そのケースカバー体Bは、図1、図2(b)に示すように、正面カバー部6及び上面カバー部7とからなり、さらに上面カバー部7より背面カバー部8が形成されており、また正面カバー部6にはカメラケース本体Aとの連結を行う連結カバー部9が形成されている。

【0017】そのケースカバー体Bは、これを構成する正面カバー部6、上面カバー部7、背面カバー部8及び連結カバー部9が直線状の薄肉部にて適宜に屈曲自在となっており、連結カバー部9がカメラケース本体Aの底面部3にリベット等の固着具にて連結固着されている。

【0018】そのケースカバー体Bの正面カバー部6及び上面カバー部7は、カメラケース本体Aの正面部1及び上面の使い捨てカメラ出し入れ口5を被覆するものであり、また背面カバー部8はカメラケース本体Aの背面部2に閉具Sにて閉じるものである。

【0019】ケースカバー体Bの実施例としては、図

1、図2(b)に示すように、連結カバー部9を底面部3に固着するとともに、正面部1側より使い捨てカメラ出し入れ口5を経て背面部2と背面カバー部8とを閉じるタイプと、上記実施例とは反対に、図11及び図12

(a)に示すように、背面部2側より使い捨てカメラ出し入れ口5を経て正面部1に正面カバー部6を閉じるタイプとが存在する。

【0020】その後者の実施例では、使い捨てカメラCにて撮影するときには、使い捨てカメラCの使用者の手前にケースカバー体Bの裏面側、即ちカメラケース本体Aとの当接面側が位置しており、そのケースカバー体Bの裏面には、図12(b)に示すように、撮影日や撮影状況を記録することができる記録紙17を貼着することもある。

【0021】そのカメラケース本体Aとケースカバー体Bとの閉具Sには種々の実施例が存在し、その第1実施例としては、スナップ材10が使用されるものであって、そのスナップ材10の雄スナップ及び雌スナップがそれぞれカメラケース本体A及びケースカバー体Bに固着されている。

【0022】その閉具Sの別の実施例としては、布面ファスナー11が使用されるものであって、鉤面材と輪状面材とがカメラケース本体A及びケースカバー体Bにそれぞれ固着されている。

【0023】そのカメラケース本体Aの側面部4、4には、吊り用紐12が吊具13、13を介して装着され、該吊り用紐12にて人体の首、肩に掛けることができる実施例が存在し、また上記吊り用紐12の代わりに、図9に示すように、手提げ用バンド14が吊具13に装着され、手首に掛けることもできる。

【0024】ケースカバー体Bには、鏡面板15が貼着される実施例が存在し、特に鏡面板15は、図10に示すように、ケースカバー体Bの背面カバー部8とカメラケース本体Aの背面部2とが閉具Sにて閉じるタイプの実施例において、そのケースカバー体Bの正面カバー部6に鏡面板15が貼着されるもので、正面カバー部6がカメラケース本体Aの正面部1と対向する側面に鏡面板15が貼着される。

【0025】上記鏡面板15は、普通の鏡が使用される以外に、鏡面状の金属板或いは樹脂板等が使用されることもある。

【0026】そのカメラケース本体Aの側面部4、4の内面側には弾発調整体16、16が設けられ、具体的には、図4に示すように、薄板金属材から長方形板状に形成され、その長手方向の一端が側面部4、4にリベット等の固着具にて固着されている。

【0027】その弾発調整体16、16の弾発片16a、16aは、底面部3に向かって内方に傾斜状に形成され、使い捨てカメラCをカメラケース本体Aに入れると、使い捨てカメラCの両側面が弾発片16a、16aに

より押圧されて、カメラケース本体A内の使い捨てカメラCが確実に保持されるようになっており、また、種々の使い捨てカメラCのサイズは、多少異なる場合があっても、前記弾発調整体16、16により適正に保持することができる。

【0028】

【発明の効果】請求項1においては、正面部1にファインダ開口部C4及びレンズ用の正面切除部1aを、背面部2にファインダC2及びフィルム巻上用の背面切除部2aをそれぞれ形成した使い捨てカメラCを収容可能なカメラケース本体Aに、前記正面切除部1a、背面切除部2a及び使い捨てカメラ出し入れ口5を被覆可能にケースカバー体Bを設けてなる使い捨てカメラ用ケースとしたことにより、第1に使い捨てカメラCを使用者が極めて扱い易くすることができるし、第2に使い捨てカメラCの趣向を種々に変化させることができるし、第3に使い捨てカメラCを簡易に収納することができ且つ、使い捨てカメラC本体を外部より保護することができる等の効果を奏する。

【0029】上記効果を詳述すると、カメラケース本体Aは、図1に示すように、主にファインダ開口部C4及びレンズ用の正面切除部1aを形成した正面部1と、ファインダC2及びフィルム巻上用の背面切除部2aをそれぞれ形成した背面部2によって構成し、その上部に大口の使い捨てカメラ出し入れ口5が存在することで、使い捨てカメラCを簡易且つ迅速に出し入れすることができ、さらに正面切除部1a及び背面切除部2aにより背面部2からファインダC2を覗くことができ、また正面部1ではレンズが露出し、使い捨てカメラCをカメラケース本体Aに収納したまま撮影でき、さらにカメラケース本体Aに収容したまま背面切除部2aからフィルム巻上作業が可能となり、使い捨てカメラCを外部より保護しつつ、撮影することができ使い捨てカメラCの使用状態を極めて良好にしたものである。

【0030】次に、カメラケース本体A及びケースカバー体Bには、図9に示すように、種々のデザイン画或いは模様を施すことができ、一般的に非個性的な外観の使い捨てカメラCを使用者の趣向に合わせたものとするができる。

【0031】次に、使い捨てカメラCは、カメラケース本体Aの上部に設けた大口の使い捨てカメラ出し入れ口5から収容し、さらにケースカバー体Bにより正面切除部1a、背面切除部2aをそれぞれ被覆することで、外気の塵等からレンズ、ファインダ等の大切な部分を保護することができる。

【0032】一般に、使い捨てカメラCではレンズキャップやファインダキャップ等が付属していないことで、レンズ、ファインダが汚れることがあり、使い捨てカメラCであるがゆえに、上記欠点が見過ごされていたが、本発明の使い捨てカメラ用ケースにより、一般のカメラと同様

にレンズ、ファインダの保護用キャップが付属したことで等しく、使い捨てカメラCであっても、確実にレンズ、ファインダの防塵が可能となっている。

【0033】次に、請求項2においては、正面部1にファインダ開口部C4及びレンズ用の正面切除部1aを、背面部2にファインダC2及びフィルム巻上用の背面切除部2aをそれぞれ形成し、且つ対向する両側面部4、4に内方に突出する弾発片16a、16aを有する弾発調整体16、16を設けた使い捨てカメラCを収容可能なカメラケース本体Aに、前記正面切除部1a、背面切除部2a及び使い捨てカメラ出し入れ口5を被覆可能にケースカバー体Bを設けてなる使い捨てカメラ用ケースとしたことにより、製造元の異なる使い捨てカメラCのサイズが種々存在しても、カメラケース本体Aに適正に収容することができる。

【0034】上記効果を詳述すると、カメラケース本体Aの対向する両側面部4、4には弾発調整体16、16を設けており、該弾発調整体16、16は内方に突出する弾発片16a、16aを形成していることにより、該弾発片16a、16aにより収容した使い捨てカメラCの筐体表面を押圧することができ、カメラケース本体A内で使い捨てカメラCを弾発片15a、15aにより確実に支持することができ、これにより、製造元の異なる種々のサイズの使い捨てカメラCに良好に対応することができる。

【0035】次に、請求項3においては、正面部1にファインダ開口部C4及びレンズ用の正面切除部1aを、背面部2にファインダC2及びフィルム巻上用の背面切除部2aをそれぞれ形成した使い捨てカメラCを収容可能なカメラケース本体Aに、前記正面切除部1a、背面切除部2a及び使い捨てカメラ出し入れ口5を被覆可能にケースカバー体Bを設け、カメラケース本体Aには吊り用紐12を設けてなる使い捨てカメラ用ケースとしたことにより、使用者は使い捨てカメラCの使用状態を極めて良好にすることができる。

【0036】上記効果を詳述すると、カメラケース本体Aには吊り用紐12を設けたことにより、使用者は、図8に示すように、その吊り用紐12を首或いは肩に掛けることができ、移動時に使い捨てカメラCの使用者がわざわざ手に握りしめておく必要がなく、使用者の両手は自由な状態にすることができ、行動範囲を一層広くすることができるのもであり、使用者が使い捨てカメラC以外に荷物を持っている場合に、極めて好都合となる。

【0037】次に、請求項4においては、正面部1にファインダ開口部C4及びレンズ用の正面切除部1aを、背面部2にファインダC2及びフィルム巻上用の背面切除部2aをそれぞれ形成した使い捨てカメラCを収容可能なカメラケース本体Aに、前記正面切除部1a、背面切除部2a及び使い捨てカメラ出し入れ口5を被覆可能にケースカバー体Bを設け、該ケースカバー体Bはカメラケ

ース本体Aの正面部1より背面部2方向に閉じる使い捨てカメラ用ケースとしたことにより、ケースカバー体Bの開閉が極めて効率的にすることができる。

【0038】上記効果を詳述するとケースカバー体Bは、図2(a)及び(b)に示すように、カメラケース本体Aの正面部1より背面部2に向かって被覆するものであり、カメラケース本体Aとケースカバー体Bとの留めは、常時カメラケース本体Aの背面部2側にて行われることとなり、これにより、使用者は自分の手前側にケースカバー体Bの開閉作業ができることとなり、その作業性を良好にすることができる。

【0039】次に、請求項5においては、正面部1にファインダ開口部C4及びレンズ用の正面切除部1aを、背面部2にファインダC2及びフィルム巻上用の背面切除部2aをそれぞれ形成した使い捨てカメラCを収容可能なカメラケース本体Aに、前記正面切除部1a、背面切除部2a及び使い捨てカメラ出し入れ口5を被覆可能にケースカバー体Bを設け、該ケースカバー体Bはカメラケース本体Aの背面部2より正面部1方向に閉じる使い捨てカメラ用ケースとしたことにより、ケースカバー体Bを有効に利用することができる効果を生じる。

【0040】上記効果を詳述すると、ケースカバー体Bはカメラケース本体Aの背面部2より正面部1に向かって被覆しているため、カメラケース本体Aとケースカバー体Bとの留めは、常時カメラケース本体Aの正面部1側にて行われ、ケースカバー体Bを開くときには、カメラケース本体Aの正面部1とケースカバー体Bとの留めを外し、ケースカバー体Bを使用者の手前に移動させるもので、ケースカバー体Bを全開した状態で、ケースカバー体Bの裏面側、即ちカメラケース本体Aとの当接側が使用者の手前に広がることとなる。

【0041】それゆえに、そのケースカバー体Bの裏面側に、図12(b)に示すように、撮影場所やその時の状況をメモしておく記録紙17を設けておくことができ、該記録紙17はケースカバー体Bをカメラケース本体Aに閉じるときには、完全に隠れるものであり、その利用性を一層向上させることができる。

【0042】次に、請求項6においては、正面部1にファインダ開口部C4及びレンズ用の正面切除部1aを、背面部2にファインダC2及びフィルム巻上用の背面切除部2aをそれぞれ形成した使い捨てカメラCを収容可能なカメラケース本体Aに、前記正面切除部1a、背面切除部2a及びカメラケース本体Aの使い捨てカメラ出し入れ口5を被覆可能にケースカバー体Bを設け、該ケースカバー体Bはカメラケース本体Aの正面部1より背面部2に向かって被覆可能とし、ケースカバー体Bのカメラケース本体Aとの当接面側には鏡面板15を貼着してなる使い捨てカメラ用ケースとしたことにより、被写体人物がその状態を容易に確認することができる。

【0043】上記効果を詳述すると、ケースカバー体B

をカメラケース本体Aの正面部1より背面部2に向かって被覆可能とし、且つケースカバー体Bの被覆面側には鏡面板15を貼着していることで、図10に示すように、ケースカバー体Bの裏面側が被写体方向に対向することとなり、それゆえにケースカバー体Bの裏面側に貼着した鏡面板15は被写体人物に向いており、被写体人物は自分の状態を鏡面板15に写して確認することができ、最良の状況での撮影ができ、且つ失敗の無い撮影ができる。

【0044】また、ケースカバー体Bの被覆面側に鏡面板15を貼着していることで、ケースカバー体Bをカメラケース本体Aに被覆した状態で、その鏡面板15はケースカバー体Bとカメラケース本体Aとの間に存在することとなり、撮影以外のときは鏡面板15がカメラケース本体Aとケースカバー体Bとにより保護されることとなる利点もある。

【0045】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の使い捨てカメラ用ケースの斜視図

【図2】(a)は本発明の使い捨てカメラ用ケースに使い捨てカメラを内装した斜視図

(b)は本発明の使い捨てカメラ用ケースに使い捨てカメラを内装した縦断側面図

【図3】カメラケース本体の分解平面図

【図4】カメラケース本体の縦断正面図

【図5】本発明の使い捨てカメラ用ケースに使い捨てカメラを内装した正面図

【図6】本発明の使い捨てカメラ用ケースに使い捨てカメラを内装した背面図

【図7】本発明の別の実施例の使い捨てカメラ用ケースに使い捨てカメラを内装した背面図

【図8】吊り用紐を設けた使い捨てカメラ用ケースを人体の適正箇所に掛けた略示図

【図9】使い捨てカメラ用ケースに絵画を付記した実施例の斜視図

【図10】使い捨てカメラ用ケースのケースカバー体に鏡面板を固着した実施例の斜視図

【図11】本発明の別の実施例を示す斜視図

【図12】(a)は別の実施例の使い捨てカメラ用ケースの縦断側面図

(b)はケースカバー体にメモを設けた実施例の斜視図

【符号の説明】

A…カメラケース本体

1…正面部

1a…正面切除部

2…背面部

2a…背面切除部

5…使い捨てカメラ出し入れ口

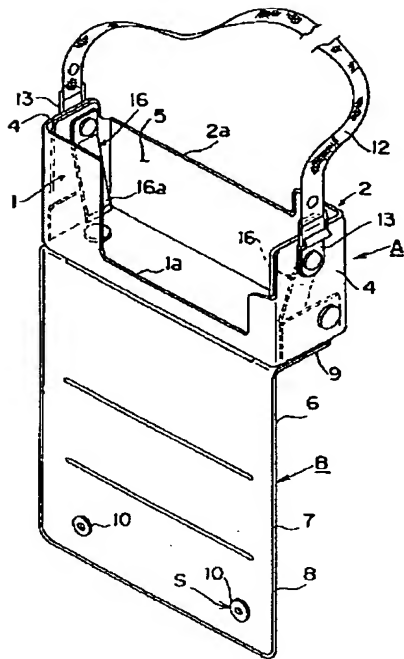
16…弾発調整体

16a…弾発片

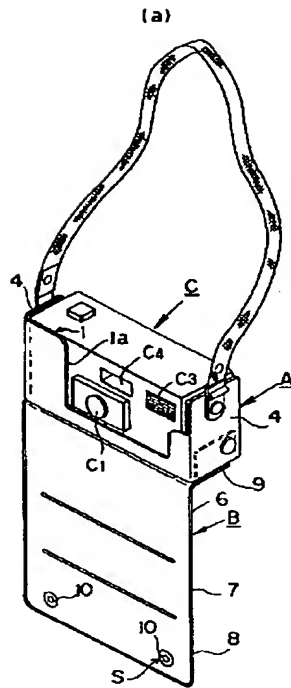
B…ケースカバー体
12…吊り用紐
15…鏡面板

C…使い捨てカメラ
C2…ファインダ
C4…ファインダ開口部

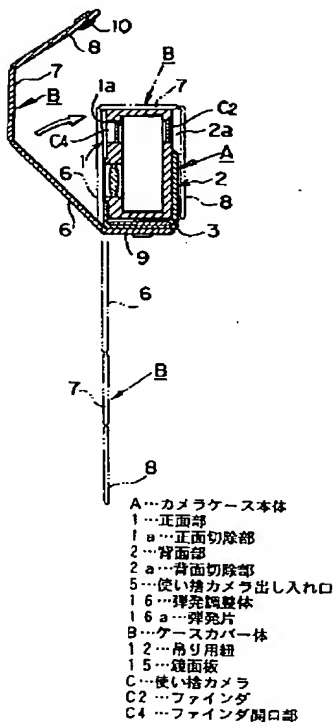
【図1】



【図2】



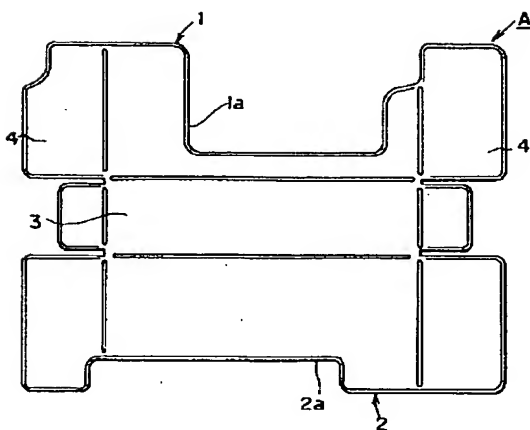
(b)



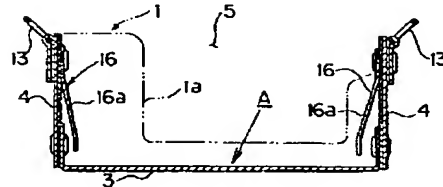
【図8】



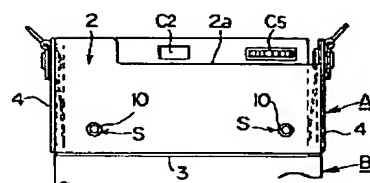
【図3】



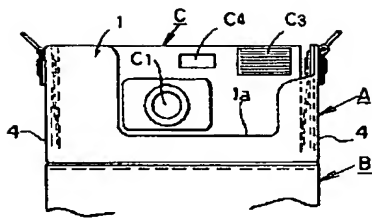
【図4】



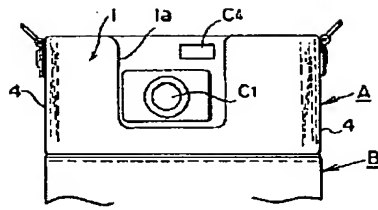
【図6】



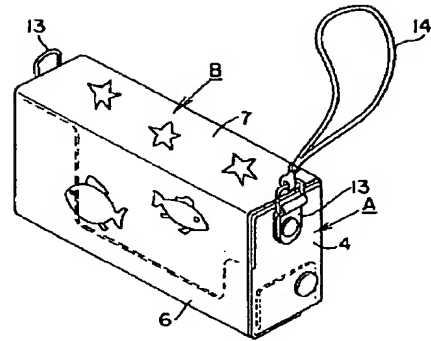
【図5】



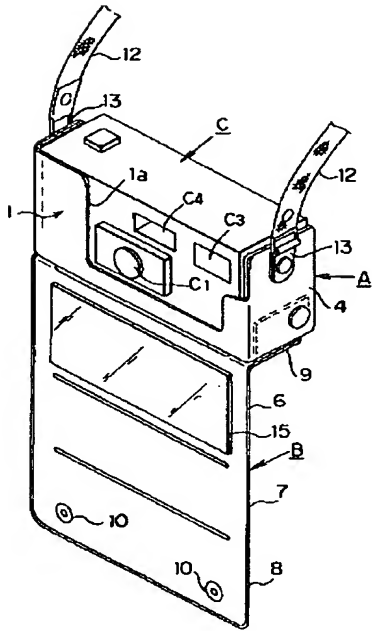
【図7】



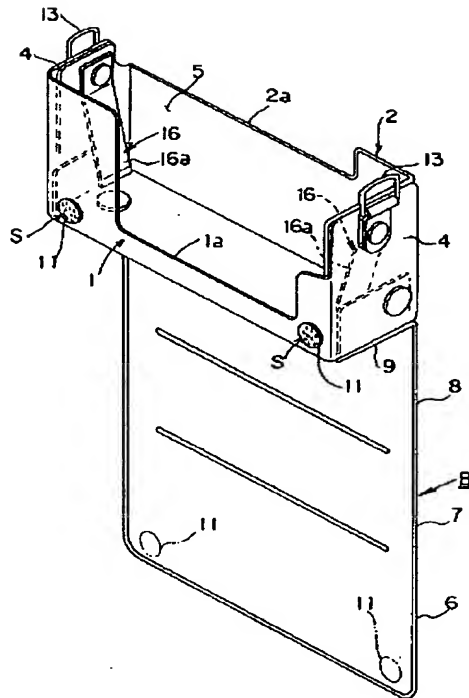
【図9】



【図10】



【図11】



【図12】

